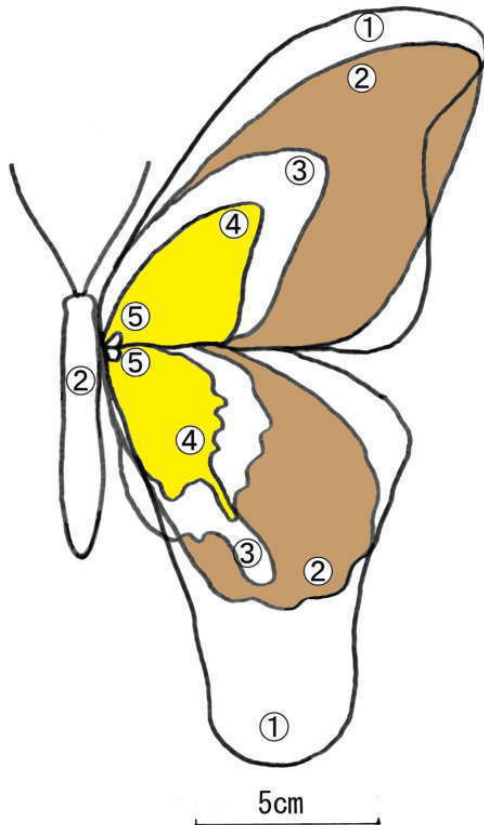


ジャイアントとピグミー

1. 蝶の最大と最小種



- ①オオヨナクニサン(フィリピン)
- ②アレキサンドラトリバネアゲハ(♀)
- ③モンキアゲハ(夏型・♀)
- ④キアゲハ(夏型・♀)
- ⑤ホリイコシジミ(台湾)

アレキサンドラトリバネアゲハといえば、皆さんもご存知のように、蝶の世界では世界最大で、特に雌(♀)の最大のもは前翅長130mm(開張280mm)にも達し、今から110年ほど前に発見された時には、鳥と間違えられて鉄砲で射落としたと言われています(前翅長や開張については[ここ](#))。

この蝶は♀は暗色で大きいだけで目立ちませんが、♂は翅が細くスマートでとても綺麗です。アレキサンドラエと呼ぶ学名が示すように、それはエドワード七世の妃の名前に由来します。

そこで、日本にいる蝶や世界の蝶の大きさを比較してみましょう。上図をご覧ください。

②とあるのが、パプアニューギニアの「アレキサンドラトリバネアゲハ」の♀のプロポーションです。

③は日本では一番大きい「モンキアゲハ」の♀で、もちろん夏型です。

④は、日本産「キアゲハ」の夏型の♀です。

⑤は台湾産の「ホリイコシジミ」です。

このように最も小さいのはシジミチョウ科で、アジアでは、台湾に棲息するホリイコシジミですが、このシジミチョウの開張は9mmで小さい方の代表格です。

蝶の最大種と最小種の開張の比を計算してみると、最大種/最小種は 31.1 になります。したがって、最大種は最小種に比べて、翅の面積比では約 1000 倍、体重では約 30,000 倍にもなります。すごいですね。

さて、上図でいちばん大きい①は何んだと思いますか。実は、フィリピンに棲息する前翅長が 135mm にもなる、蛾の「オオヨナクニサン」です。沖縄に棲息するヨナクニサン(前翅長は125mm)を一回り大きくしたもので、これが世界最大の蛾というわけです。

なお、日本ではいちばん大きいといわれる「モンキアゲハ」の♀の夏型は、エクアドルに棲息する「メネラウスモルフォ蝶」と同じくらいの大きさです。

ところで、皆さんはヨナクニサンの棲の部分(翅の先の部分)を良く見たことがありますか。ご存知でない方は図鑑を開いて見てください。人によっては、「あれはマムシの顔に擬態している」といいます。でも、これを見て「あっ、まむしだ！」という動物は人間だけかも知れませんね。人間から見て「擬態だ」というのはそもそもおかしいですね。誰から見て擬態かという、私たち人間には判らない被捕食者(「まむし」に食べられる側)から見た視点が抜けていますね。

2. 昆虫の最大種

虫の体長(体格)比べをしてみましょう。まず、体長や開張ではどうでしょう。

体長や開張	蝶	アレキサンドラトリバネアゲハ	パプアニューギニア	開張 28cm	B5 の紙の対角線の長さ 17 インチの画面であれば画面一杯
-------	---	----------------	-----------	---------	-----------------------------------

	ナナフシ	ナナフシ	ニューギニア	体長 33cm	A4 の紙の対角線の長さ
	クワガタ	キバナガノコギリクワガタ	インドネシア	12cm	新書本の短辺の長さ
	カブトムシ	ヘラクレスオオカブトムシ	中南米	角まで 16cm	新書本の長辺の長さ
	蛾	ヨナクニサン	八重山諸島	開張 20cm	A4 の紙の短辺の長さ
	トンボ	ハビロイトトンボ	中南米	体長 12cm 翅の開張 20cm	新書本の対角線の長さ
	トンボ	オニヤンマ	日本	翅の開張 14cm	CD ケースの長辺の長さ
	トンボ	メガニューラ (Meganeura)	古生代	翅の開張 70cm	机の高さが大体 70cm

次に、体重で比較してみましょう。

体重	コガネムシ	ゴライアスツノコガネ	アフリカ	体重 100g 体長 11cm	1円玉 100 個分
	チョウ	アレキサンドラトリバネアゲハ	パプアニュー ギニア	体重 25g	1円玉 25 個分

世界一小さな昆虫はどうだろう。

体長や開張	蝶	—	開蝶 7mm	赤鉛筆の直径
	蛾	—	開蝶 2mm	—
	ハチ	アザミウマタマゴバチ	体長 0.18mm	—
	甲虫	ムクゲキノコムシ	体長 0.2mm	—
	トンボ	トンボ	体長 1.8cm	2cm が1円玉の直径